

平成30年度



学校だより大宮 春休み号

学校教育目標

「自ら学び 考え 行動する子どもの育成」

京都市立大宮小学校
校長 高宮佳彦
北区大宮中ノ社町37
TEL 491-0783
FAX 492-4221

子どもたちの今と未来のため、社会のあらゆる場で
「子どもと共に育む京都市民憲章」を实践しましょう！

携帯電話用
HP
QRコード



あいさつ

本年度末をもちまして、退職となります。大宮小学校では、4年にわたって保護者や地域の皆様には、大変お世話になりました。心より感謝を申し上げます。

教員となって37年となります。楽しかったのは、やはり担任時代でした。担任ができたのは、教員生活の1/3ほどにしかありませんが、教えた子どもたちの顔と名前は忘れることはありません。最初に担任した子どもたちは、50歳近くになり、素敵なお父さんお母さんになっていることが、同窓会や年賀状によって分かります。この仕事に就いて、本当によかったな—と思っています。

その反面、病気などで若くして命を亡くした子どもたちもいました。本当に辛かった。成人式を迎えられなかったAさん。将来の夢をかなえることなく逝ってしまいました。結婚を控えて、式の招待状を送ってきたB君。せっかく考えていた私からのお祝いの言葉を聞くことはありませんでした。結婚して2人の子どものお母さんだったCさん。我が子の成長を見届けることができず、どれ程悔しかったことだろう。着付け師として、花街で大活躍していたD君。テレビなどのメディアにも取り上げられ、これからだったのに……。親御さんからの手紙の中に、「息を引き取る朝に、なぜか先生との思い出話をしました。そのことをお知らせしたくて、筆を……。—」というものがありました。そういえば、そんなことあったな—、という懐かしさと、そんなことを覚えてくれていたんだ、という嬉しい悲しみが湧きあがってきたことを覚えています。

こんなことを経験すると、自分自身も子どもたちも、一日一日を大切に過ごすことがいかに大切かということが身に沁みます。にもかかわらず、子どもたちに充実した、楽しい毎日を送らせることができたのか、という反省が残ります。その時その時では、できる限りの対応をしているつもりでも、振り返ってみると本当にその選択はベターだったのか？という疑問を感じます。それは、教師という仕事だけでなく、親としても同じようなことを感じています。

教員最後の年は、毎日子どもたちの教室を回って、話をし、遊んで……。—ということを思い描いていましたが、校長が組織する校長会の会長になってしまい、出張続きでほとんど学校に居ない日々となってしまいました。痛恨の極みです。が、先日、本校の教員が、私にとっての最後の授業をあるクラスでさせてくれました。校長として終わるのではなく、担任として退職するような気がしました。感謝です。

今後とも大宮小学校の教育推進に、ご理解とご協力をお願い申し上げます。大宮の子がこれからの大宮地域を支えてくれる人材になることを祈念し、ご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

高宮 佳彦

後期学校評価 前期比

(+評価は前期比で向上・-評価は低下)

	アンケート項目(※は教職員のアンケート項目)	保護者 教職員 児童 前期比(+は向上)		
1	学校は人権を大切にした教育活動を行っている	0%		
2	学校は保護者と連携を密にし、相談しやすい雰囲気があり、丁寧に対応している	2%		
3	学校は、学校教育目標や学校の方針、取り組みを分かりやすく学校だよりやホームページで伝えている	0%		
4	子どもは先生と話しやすい、相談しやすいと言っている	1%		
5	学校は、児童一人一人を大切にしている	-2%		
6	学校からのおたよりやホームページで学校の情報や様子が伝わっている	1%		
7	子どもは、めあてがはっきりとして、授業がわかりやすいと言っている ※(めあてをはっきりとさせた授業ができている)	2%	-5%	0%
8	子どもは、自分の考えをきちんと話したり、書いたりすることができている ※(学習のルールを守る指導を徹底している。)	-1%	6%	6%
9	子どもは、話をしっかり聞いて、学習に取り組んでいる ※(相談したり、意見交流したりする場面を作っている)	0%	-3%	0%
10	子どもは、めあてや問題を解決するために、本や資料を使って調べる活動にしっかりと取り組んでいる ※(わかりやすい授業ができるように発問・板書を考え、ノート指導を適切に行っている)	-3%	4%	-1%
11	子どもは、家で読書をしている ※(読書ノートなどを活用して、進んで読書できるように取り組みを行っている)	-3%	10%	4%
12	子どもは、家で宿題や家庭学習を進んでいる ※(家庭学習に主体的に取り組めるように、また学年に適した時間取り組めるように工夫・支援している)	2%	10%	2%
13	子どもは、自分から進んであいさつをしている ※(挨拶できるように取り組んでいる)	1%	-5%	0%
14	子どもは、きちんとそうじをしたり、はきものを揃えたりしている ※(できるように取り組んでいる)	-2%	-6%	0%
15	子どもは、地域や学校(学級を含む)でルールを守れている ※(守るように取り組んでいる)	-3%	-2%	1%
16	子どもは、学校は楽しく、安心して登校できると言っている ※(友だちを大切にし、仲良くできるようなクラスづくりをしている)	0%	-1%	-1%
17	子どもは、困ったことがあれば友だちや先生と話したり、相談したりしやすいと言っている ※(自分から子どもたちへ声をかけて話しやすい関係を作り、子どもたちの思いをしっかり聞こうとしている)	-4%	-4%	5%
18	子どもは、学校のことをお家の人によく話している	-3%		-2%
19	子どもは、家庭で道徳の授業について話すことがある ※(「道徳の授業」の充実を図る)	-7%	0%	6%
20	子どもは、健康に気をつけている(早寝早起き朝ごはん、手洗いうがい、歯みがきなど) ※(健康に気をつけることができるように取り組んでいる)	0%	2%	-3%
21	子どもは、安全に気をつけて遊んだり、登下校したりしている ※(学校や地域で、安全に気をつけて遊んだり登下校したりするように取り組んでいる)	0%	-2%	0%
22	子どもは、進んで体を動かしたり、スポーツ活動に参加したりしている ※(休み時間や放課後に進んで体を動かしたり、スポーツ活動に参加したりするように取り組んでいる)	4%	1%	-1%
23	子どもは、好き嫌いせず食べている ※(好き嫌いせず、給食を食べるように取り組んでいる)	-2%	-3%	-3%



＜結果考察＞

今回は、前回（7月実施）と比較したデータを掲載しています。「よく出来ている」「大体出来ている」と答えた割合が前回と比較し増加しているかどうかを調べました。プラスの値であれば、前回よりも向上した項目、マイナスの値ならば、前回よりも低下した項目となります。

設問1～6について

設問6「学校は児童一人一人を大切にしている」では、前回よりも悪化しており、およそ10%の保護者の方があまり出来ていない・出来ていないと回答されています。このことは大変重く受け止めとめています。一方、設問2「学校は保護者と連携を密にし、相談しやすい雰囲気があり、ていねいに対応している」では、わずかながら向上しています。今後も児童・保護者どちらからも信頼される担任を目指すために、児童や保護者の意見に耳を傾け、熱意をもって教育活動を行っていきます。

設問7～23について

設問8，11，17，19については、子どもたちは出来ていると答えているにもかかわらず、保護者はそこまでよくなったと感じていない、という回答結果になりました。教職員の回答でもおおむね向上しているとの評価から、学校で子どもたちが頑張っている姿を、家庭にお届けできていないと考えられます。お便りやホームページだけではなく、様々な形で、子どもたちの頑張りを伝え、ご理解いただく必要があると考えております。

保護者の自由記述（後期・一部加筆修正・抜粋）

丁寧な対応、特性に応じた指導をしていただきとても感謝しています。

ホームページも頻繁に更新していただいて、学校での様子がよくわかって良いと思います。これは続けてほしいです。

毎日のランドセルが重すぎるので、宿題など使わない教科書やノートは学校に置いて欲しい。体重と比較してください。

毎日楽しく学校に通わせていただきありがとうございます。自分から学校の話をしてないので意識して話を聞くようにしていますが、なかなか話してくれません。HP等で様子を知ることができ、ありがたいなあと思います。

1・3学期は何度か授業参観がありましたが、2学期は一度もなかったように思います。各学期に1回ずつ参観の日があるとうれしいです。学習発表会は、1年生の発表しか見ることができていませんが、子どもたちの成長と一生懸命頑張る姿を見ることができてとてもうれしく思いました。先生方の熱心なご指導に感謝いたします。

担任の先生は、いつも授業も生活態度も熱心に見て下さっているのが伝わってきて、安心して通わせることができます。子どもが楽しい様子で、とてもありがたいです。

いつも参観日の時、路上駐車をしておられる方があり、少し停めているのではなく、1時間以上止めることになるのに、平然と止めておられますが、子供に、人に迷惑をかけたらダメと教育していくべき立場の保護者がすべき行動ではないと思いますが・・・

隣の紫竹小のWebは、例えば夏の災害時の緊急引き渡し時や冬のインフルエンザの学級閉鎖の情報など、すぐにHPにのせていて保護者はすぐ、対応や心づもりができる。本当に知りたい情報がすぐに載っている。一方大宮小のHPは、あまり急がない「みさき合宿」の情報がUPされ、困惑していた。そういう、緊急時の情報をすぐHPに載せてほしい。

メール配信のみで事前連絡なく通常より早く下校させるのは、安全上とても不安があるので、学校ルールを再考願いたい。事件発生後に下校、通常より早い帰宅で家に入れず外で待つというようなことも発生するため。メールの配信は有益であるが、仕事で見れないことも多い。メールだけで案内済とされては少々心許ない・・・。

学校の様子は、学年やクラスによって、ホームページにアップされる頻度が違う様で、クラスの様子などは、あまり伝わってこないように感じます。

先生の話をもっとしっかり聞いて欲しい。持ち物など分からなかったり、忘れたりすることが多く感じる。

校内放送が英語でされていると子供から聞き、とても良い取組だと思った。もう少し宿題が多くてもよいかな…と思います。

紙でのお知らせを1日何枚ももらいますが、ホームページやメールにしてほしい。

成績の評価の仕方をもう少し明確にしていただけたらと思います。

いつも先生から肯定的な声掛けをしていただき、子どもは毎日楽しく学校に通っています。暖かい目で見守っていただき感謝しています。

学校は勉強、運動をするところ、学ぶところという基本に立ち返るべきと思う。学びたい子供がその気持ちをなくさないでいられる環境づくりを願う。いろいろ大変なのかもしれませんが、「しっかりとしかってくれる先生」という姿がもっとほしいなと思います。将来の子どもたちのためにも、ダメなことはだめ！！ケジメある小学生生活を送ってもらえたら嬉しいです。家庭でもしっかりと心も育てていきたいと思っています。宜しく願います。

毎日楽しく学校生活を過ごしているようです。友達も増えてその分楽しみも増えている様です。ありがとうございます。

いつもお世話になりありがとうございます。クラス替え等を行ったばかりのころは、心配も多かったのですが、先生の見守りと細やかな配慮のおかげで、今はお友達もでき、楽しいと言っています。他学年の子に嫌なことを言われた時も、すぐに相談に乗り、対応してくださって、とても心強く感じたそうです。感謝の気持ちでいっぱいです。

担任の先生とタッグを組んで、娘の人見知り、消極的なところを克服し、積極的に娘本来の明るさを発揮できるよう親としても頑張りたいと思っていますので、よろしくお願いします。

先生には質問しづらい雰囲気のように質問があまり出来ない様子です。主教科はテストによって成績が付くのはよくわかりますが、副教科は音楽ならリコーダーテストや体育も取組や結果、図工も取組や作品、どれもとてもよく頑張っていますが、成績には反映されず、がんばっても結果が出ないのは、本人のやる気に繋がらないと思います。

学校からのプリントにミスプリが多いのが気になります。

予定変更もあるかと思いますが学校だよりの次月の情報が間違っていると大変困ります。改善お願い致します。

学校側からの発信を受けるだけでなく、行事や懇談会等に参加し、自分の目でも子供の様子を見ていきたいと思います。

1日の中で学校にいる時間が1番長いので、話しやすい、相談しやすい雰囲気の先生であってほしいと思います。高学年になると友達との関係に悩む時期であり、思春期になると学校で頼りになるのは先生しかいないと思います。

最近、小学生でもSNSを使うような時代になり、家庭でもネットトラブルやモラルについて話す機会が増えました（SNSはさせていませんが）。クラスのお友達同士で動画を投稿されていて、スマートフォンを持っていない方の親御さんはSNSに自分の子が投稿されていることをご存じなのか？と思うことがあります。各家庭でSNS利用時のモラルや心構えを話し合うのはもちろんですが、学校でも高学年からではなく、低学年から情報モラルを学ぶ環境が必要だと感じています。

毎月出されてる月間予定表をもう少し早く配布してほしい。毎月30日31日に配布されるのは遅すぎる。せめて、25，26日ぐらいに配布していただけると助かります。

登下校の態度が悪い方がいる。歩道から出て走ってる生徒、手提げかばんを振り回して帰ってる生徒、カサを振り回してる生徒など危ない。

ここ2～3年で、上の子が大宮小にいた時と比べて、行事がとても減っていることが残念です。持久走大会に行間マラソンこういう取り組みがなくなり、体力も落ちていますし嫌でしんどい事もやらないといけない時もあるという事が学べなくなっていると思ひそこが残念です。又、年間を通して自由参観も減っていて保護者間の交流も徐々になくなっていて大宮小の良かった所が薄れている気がしてなりません。

持久走大会がなくなってしまったことが残念です。子ども達の体力維持の為

にも何らかの形で行うべきだと思います。（走ることはすべてのスポーツの基本です！）

いつもお話をていねいに聞いて下さってありがとうございます。先生も思われたことやお気付きのことはストレートに言って下さい。毎日、子どもの話は聞くようにしています。いろいろとむずかしいこともあるようですができる限り子ども（たち）をサポートしますので、よろしく願います。

最近、授業内容が難しいと感じているようで、帰ってから「つかれたー」と言うことがあり気になります。が、学校生活はとても楽しんでます。ありがとうございます。

学校、先生方、担任の先生は本当に子供たちが楽しく勉強し、楽しく遊び、友達とのかかわりを心から大切にできているのか！よく見ているとは思えません。勉強よりも、大事なこと、しっかり見なければならないところ、もっとあるのではないのでしょうか！子どもにとっては1年1年がすごく大事です。戻らない日々です！

先生のとらえ方もさまざまかと思いますが、まずは教師のあり方がすべてを伝える力に反映すると思います。日々、どの様な立ち位置で子ども達に接しているかでがブレることなく明確であればあらゆる意味での人権学習は子たちに伝わると思います。授業はある形にのっとってある程度の形にはなっていますがそこに教師の真意があるかどうかそれは保護者には見抜けてしまいます。

アンケートに対して

平成32年（元号が変わるのですが）に、学校の教育は大きく変わります。小学校学習指導要領（学習内容を細かく記したきまりをまとめたもの）の内容が大幅に変わるからです。また、もっとも脚光を浴びているのが、英語の教科化ということです。授業日数は変わらないのに、英語の時間が数年前に比べて3・4年で35時間、5・6年では70時間増えることとなりました。当然、この英語の時間を捻出しなければなりません。そうすると、学校行事を見直さなければならないという事態が起こってきます。見直す観点となるのが、学習指導要領となります。

例えば、保護者アンケートに書いてくださっているように、「マラソン大会がないのは、残念だ」ということについていえば、小学校体育の中で「マラソン」という学習は存在しません。そうすると、実施すること自体を検討する必要が出てきます。更に、マラソンや持久走を行うことで、命に係わるような事故も起こっています。現在では、長距離を走ったり、長時間走ったりすることについては、事前にかんりの練習を積む必要があるとされています。その証拠に、大文字駅伝の一人あたりの走行距離も、2キロメートルまでとなっています。命の危険のあるということで、全市的に取りやめる方向にあります。

学芸会も同様です。昔は学芸会ということで、派手に取り組んでいました。しかし、学習指導要領の中に決められたこと以外に、授業時数を使うことは認められていません。そう考えると、一昔前は、授業内容も少なく時間に余裕があり、また鷹揚な世の中だったのかもしれませんが。現在では、「学習発表会」として、常日頃の学習の成果を発表するようになりました。

37年間の教員生活の中で、学校教育は、いろいろな変化がありました。春の遠足・秋の遠足というものがなくなり社会見学が中心となりました。スケートやスキー教室もなくなりましたね。「総合的な学習」という新しい学科も平成14年から始まりました。何か新しいことが始まると、スクラップ・ビルトしていかないと、やることがどんどん増えて、身動きがとれなくなってしまいます。今の学校はそんな状況です。「働き方改革」を政府が推進しなければならないほど、学校現場の多忙化が問題となっています。「学校＝ブラック企業の代表」と言われている今、学校教育・現場も大きな変革の時期にあるのではないかと思います。